

The 34th Congress of Japanese Headache Society

第34回 日本頭痛学会総会

日本頭痛学会10周年

頭痛の研究と医療…新たな展開

会長:中島 健二 (鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設脳神経内科)

◆2006年11月24日(金)・25日(土)

◆米子コンベンションセンター
(BigShip)

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294番地

第34回 日本頭痛学会総会事務局

鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設脳神経内科

〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1

TEL:0859-38-6757 FAX:0859-38-6759

Email:JHS34@neuro.med.tottori-u.ac.jp



演題募集

期限:平成18年7月4日(火)~9月6日(水)

インターネットでのオンライン登録です。

■シンポジウム1/頭痛の遺伝子研究の現状と展望

座長:竹島多賀夫(鳥取大), 濱田潤一(北里大)

- (1) 家族性片麻痺性片頭痛 小野寺理(新潟大)
- (2) CADASIL 平野照之(熊本大)
- (3) MTHFR遺伝子と片頭痛 古和久典(鳥取大)
- (4) 片頭痛のゲノム研究 百瀬義雄(東京大)

■シンポジウム2/

Debate:低髄液圧性頭痛の診断と治療効果について

座長:間中信也(温知会間中病院)

Pro:脳脊髄液減少による頭痛の診断とブラッドパッチ治療の効果について

篠永正道(国際医療福祉大・熱海病院)

Con:低髄液圧性頭痛-神経内科の立場から- 寺本純(寺本神経内科クリニック)

指定発言:低髄液圧性頭痛の診断と治療の問題点 喜多村孝幸(日本医大)

■招待講演

New Ideas about Headache Pathophysiology and Therapy

Prof. Andrew Charles, M.D. (David Geffen School of Medicine at UCLA)

■会長講演:大会長 中島健二

■ランチョンセミナー1 11月24日(金)

「女性のライフステージと片頭痛」

座長:平田幸一(獨協医大) 演者:五十嵐久佳(神奈川歯科大)

■イブニングセミナー 11月24日(金)

Current Topics in Clinical Management of Headache

座長:坂井文彦(北里大)

演者:Prof. Andrew Charles, M.D. (David Geffen School of Medicine at UCLA)

■スポンサードレクチャー 11月25日(土)

「片頭痛から薬物乱用頭痛への進展」

座長:岩田誠(東京女子医大)

演者:山根清美(太田熱海病院), 清水俊彦(東京女子医大)

■ランチョンセミナー2 11月25日(土)

「片頭痛と脳血管障害・白質病変の関連」

座長:片山泰朗(日本医大) 演者:鈴木則宏(慶應大)

■サテライト行事 11月25日(土)

●頭痛フォーラム-Yonago 2006

-頭痛診療ABC:これから頭痛診療に取り組み方へ

●市民公開講座

<http://neuro.med.tottori-u.ac.jp/JHS34/>